

12日 中央小開校120年記念
(株)丸博野沢組が空撮パネルを寄贈

株式会社丸博野沢組（野澤政博代表取締役）が中央小学校（池田健人校長）に、全校児童と校舎が写った空撮パネルを寄贈しました。同社は昨年開校120年を迎えた中央小学校の記念用にドローンを使って撮影。また昨年10月に行われた同校の学習発表会では、撮影した動画を上映しました。

野澤代表は「120年の節目なので何か形にしてあげたいと思っていました。地域の子どもたちのためにぜひ使ってください」と話していました。



13日 海難事故のない町を願い
浜厚真救難所出初式

日本水難救助会浜厚真救難所（木戸嘉則所長）の出初式が、鶴川漁協厚真支所で行われました。式では厳寒の中、同救難所員12人が苫小牧海上保安署の川崎千信署長らの視閲を受けました。

木戸所長は「日々漁業に携わりながらの救助活動ですが、一朝有事の際には所員一同、初期目的達成のため救助活動にまい進する所存です」と答辞を述べ、所員たちは決意を新たにしていました。



14日 空手道最強塾が真冬の海で寒稽古

空手道最強塾（幅田洋司代表）が浜厚真海岸で寒稽古を行いました。浜厚真海岸で寒稽古を行うのは、今年で6回目。5～45歳の塾生18人は、気温氷点下5度のなか海に入り、「セイ！」と気合の入った突きや蹴りを繰り返しました。手足を真っ赤にしながらかこの1年の精進を誓いました。

幅田代表は「みんな寒い中大きな声を出して頑張っていた。今年は全国大会でも結果を残せるよう指導していきたい」と力強く抱負を話していました。



15日 町と教育委員会が教育について話し合い
総合教育会議

役場で総合教育会議が開催され、宮坂町長と遠藤教育長、教育委員会委員ら9人が出席しました。

総合教育会議は町長と教育委員会が教育行政について協議・調整を行い、教育政策の方向性を共有する場で平成27年4月に設置されました。会議では教育についてそれぞれの立場で活発な意見交換がされました。



6日 火災や災害のない1年を願い
厚真消防出初式

厚真消防団（五十嵐次男団長）と消防署厚真支署による合同の出初式が、厚真市街地で行われました。

胆振東部消防組合管理者の宮坂町長や来賓、地域住民などが見守る中、77人の署団員が市街地を分列行進しました。

行進後、総合福祉センターで開催された式典では、各種表彰や同団第1分団の森田正樹班長と金澤兄妹による太鼓演奏などが行われ、防火・防災活動への意識を新たにしていました。



10日 町の発展を願い6団体新年交礼会

町議会、JAとまこまい広域、土地改良区、農業委員会、苫小牧森林組合、商工会の6団体主催の新年交礼会が総合福祉センターで行われ、約160人が出席しました。

世話団体を代表して寺坂文秀商工会長が「厚真町の将来発展のために今年は、お互いに尊重し力を合わせてさらに盛り上げていく1年にしたい」とあいさつ。6団体の代表と宮坂町長の7人による鏡抜きが行われ、新年の幕開けを盛大に祝いました。



11日 交通事故ゼロを願って交通安全祈願祭

町交通安全協会（大浦真則会長）による交通安全祈願祭が厚真神社で行われ、同協会、自治会、事業所などから約30人が参列し、交通事故のない町を祈願しました。

祈願祭終了後、大浦会長は「昨年は町内で交通事故により3人の方が亡くなり、最近にはない残念な年となりました。今年は、交通事故のない年になるよう活動にご協力お願いします」とあいさつしていました。



防災のページ

第10回 Jアラート全国一斉情報伝達訓練の実施について



町では、大規模な地震等の発生時に、警報等の情報を確実かつ迅速に町民の皆さまへお伝えするため、下記のとおり情報伝達訓練を実施します。

なお、本訓練において防災行政無線が雑音により聞き取れないなどの不具合がありましたら、上記までお問い合わせください。

3月14日 水
11時ころ

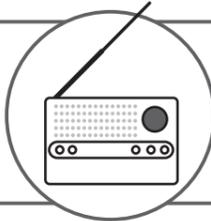
※災害等の発生により、訓練を中止する場合があります。

Jアラートの自動起動機を使用して、防災行政無線および屋外拡声器から放送される標準メッセージは、次のとおりです。

(上りチャイム音)
「これは、Jアラートのテストです。」×3回
「こちらは、ぼうさいあつまです。」
(下りチャイム音)

※厚真町以外の地域でも、さまざまな手段で情報伝達訓練が実施されます。

※Jアラートとは、地震・津波や武力攻撃などの緊急情報を、国から市区町村へ、人工衛星などを通じて瞬時に伝達するシステムです。



町では、防災行政無線（災害情報や町からのお知らせが放送されます）を無償貸与しています。

防災行政無線に装着している乾電池は、停電時に電源を確保するためのものですので、定期的な点検し、乾電池が切れている場合は交換をお願いします（通常時は、家庭用電源から電源を確保しています）。



町臨時職員（事務職）募集

町では、昨年に引き続き雇用創出事業を実施します。その一環として、町臨時職員（一般事務）を雇用しますので、条件等を確認の上、担当窓口に履歴書を提出してください。

募集職種	一般事務職
雇用期間	平成30年4月1日～平成30年9月30日 (ただし、さらに6カ月間延長する場合があります)
勤務時間	8時30分～17時30分のうちの7時間45分勤務 (ただし、土曜・日曜日および祝祭日を除く)
賃金	月額 149,300円
社会保険	健康保険法、厚生年金保険法および雇用保険法に基づいて適用
応募資格	①最近離職を余儀なくされ、現在就職活動をされている方 ②雇用期間中、積極的に就職活動をする意欲のある方 ③簡単なパソコン操作のできる方（ワード、エクセルなど）
応募方法	履歴書を役場総務課総務人事グループへ提出してください ※原則として窓口受付としますので、ご面倒でも役場までお越しください。
応募期限	2月28日(水)まで
選考	面接を行います。日時については後日通知します。

問い合わせ：総務課総務人事グループ ☎27-2322



Town News

1月のあつま

PART2

17日 厚真スピードスケート少年団の5選手が全道大会入賞報告

1月12・13日に釧路市で開催された「第40回北海道スポーツ少年団スピードスケート競技大会」で、厚真スピードスケート少年団所属の5人が入賞し、指導者の長橋政徳さんとともに役場を訪れ、宮坂町長に結果を報告しました。

大会では、尾谷琴音さん（厚真中3年）が1,000㍓で4位、1,500㍓で6位、大捕匠翔くん（厚南中3年）が500㍓と1,000㍓で3位、赤間朱樹さん（厚真中2年）が1,500㍓と3,000㍓で優勝、尾谷駿文くん（中央小6年）が1,000㍓で6位、大捕瑚々奈さん（上厚真小3年）が500㍓で5位、1,000㍓で6位に入賞しました。

昨年に引き続き中学生女子1,500㍓を連覇した赤間さんは「まだタイムが縮まると思ったので、フォームに気をつけて練習したいです」と抱負を話していました。



左から大捕くん、赤間さん、尾谷くん、尾谷さん、大捕さん

22日 JAとまこまい広域 青果物集出荷予冷貯蔵施設新築工事竣工式

JAとまこまい広域（秋永徹代表理事組合長）の青果物集出荷予冷貯蔵施設が上野地区に完成し、同施設で新築工事竣工式・落成式が行われました。同施設は氷室メーカーインやハスカップ、ハウレンソウなどの青果物の集出荷・貯蔵・選果を一元的に行う複合施設で、青果物の生産の効率化やブランド化に向けて活用するものです。

式典には宮坂町長や町議会、JAとまこまい広域ら関係者約50人が出席。秋永組合長は「メーカーインやハスカップなど生産・出荷体制を整えていきたい」とあいさつしていました。

同施設には4月から農作物を搬入し、本格稼働する予定です。



22日 尾谷琴音さん、大捕匠翔くん、赤間朱樹さんが全国スケート大会の抱負語る

2月3日に長野県で開催される第38回全国中学校スケート大会のスピードスケート競技に出場を決めた大捕匠翔くん（厚南中3年）と尾谷琴音さん（厚真中3年）、赤間朱樹さん（厚真中2年）が役場を訪れ宮坂町長に決意を語りました。

3人は1月上旬に帯広市で行われた全道大会で好成績を収め全国大会への切符を手に入れました。

大捕くんは「練習の成果をレースで発揮できるよう頑張りたい」、尾谷さんは「全国大会に出場するのは3回目なので、今年こそは予選を突破して良い結果を残したい」と意気込みを話していました。

